支那

大正二年二月十一日第三種郵便物認可

第四三八號

大正十年七月十一日 毎月曜日發行

Vol. VII. No. 438. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 春申社

上海崑山路OA八號

電話北二八五七番

振替口座福岡四七〇五番

SCHOOL ★ COMPANY

▲目次

□社論 軍閥と財閥 一
□碌々錄 忌憚なき列國干政論 二
陝西問題の其後 二
自治熱と市郷治制 三
□週間要報 三
外蒙討伐と現在（二六） 三
□上海報界の過去及現在（二六） 四
□典籍と自己と吾人の大任（六） 五
□支那時事日誌 六
□雜報 六
（一）中佛銀行救濟問題 八
（二）其他 八
□漢字新聞論調 八
□金融市況 十
□公人私人 十一

軍閥と財閥

▲干政論と復辟▼

苟くも支那時局の推移を見るものは、軍閥と財閥の關係に就き、大に留意する所かるべからず、夫れ軍閥は天下の亂を平定し功ありとし、其實力を誤用し、其實力を過信するより起るものなれども、國家社會に對し何等實力なく社會中の游離分子と云はるゝ往時の士即今日の知識階級が徒らに口說を弄し、政治推移の具となるが爲め、一層軍閥の實力を誤用せしむることを思はざるべからず、袁世凱は民國初頭の軍閥頭梁なり、彼は清朝尾大振はざるに當りて、適々爆發せし武漢革命を利用し、以て妥協的民國を形成せるものなるが、其實力は革命黨及其他各省軍人をも壓するに足れり然れども軍閥の實力を過信し誤用したる彼は、帝制を恢復し、自己皇帝たらんと欲して遂に自ら斃れたり、其後を繼ぎし段祺瑞亦勢力の中心を得たれども、均しく實力を誤用し過信せる爲め又一敗地に塗みれたり、尙唐繼堯の如き西南の砥柱として、一時四川をも風靡せる勢力ありしと雖も、部下顧品珍に追はれ、今や其身を容るゝの餘地なき狀態に在り、其他劉顯世は盧燾に追はれ、熊克武は劉湘に追はれ、譚延闓は趙恒惕に逐はれ、倪嗣冲亦段の推倒と共に位置を失し、軍閥の運命は至りて短かく、謂はゞ一種の法則となれる觀あり、隨つて今後の軍閥勢力の運命も推想するに足りなとこれはざるべからず、然れども軍閥短命の法則を以て、直ちに支那の革新と統一が期待さるゝと思ふは大誤謬なり、何となれば支那の士即知識階級は中堅組織なく、一に軍閥に比附して政治家の叢出は容易に期待せられざればなり、即ち軍閥を離れて眞の革新運動を圖る主義と勇氣と忍耐力あるもの一人もなく現功政權に替はるの一人もなく現功政權に替はるの時は、軍閥が列國共同監政の下に立つ時なりと考へられざるにあらず、即ち外人が廢督裁兵を高調すると共に財閥たらんとする研究系及舊交通系が殊に外人の所論を歡迎し、大に軍閥を攻擊し、武力時代は十九世紀の陳物なり、諸强國の挙々として頭を惱ます所のものは、獨り經濟問題のみと云ひ、時潮を援用しつゝあるが如きは、其左券なり

然れども支那の財閥は軍閥あるにあらざれば、立つべからず、軍閥と財閥は影の形に從ふか子く、分離すべからず、恰かも游離分子たる政客官僚が、軍閥なしに政治活動を爲す如し、然らば軍閥は永久止むべからざるべく、財閥も亦永久止むべからざるべく、只だ甲閥倒れて乙閥來り、午閥倒れて羊閥來るのみ、國家の進歩統一に於て何の益なく、列國共同監政の勢を促進せしむる意味に於て同樣なるにあらずや之ふを得べきや、是れ吾人の支那問題に對する機微の存する所にして、深く趣味を以て研究を要する所なり

列國共同監政の勢ひ切迫する時は軍閥の覺醒する機會にして、又官僚政客の最も困難なる立場に遭遇する時期なり、此に於て民心は自己本位に還らしむべき、一種の消極的力を生むことゝなり、共和の美名の下に專制せしめ人物は、愈破産せざるべからず親歐米に傾倒し財閥たらんとする

遂に民主政治を生み、間接資本家階級の跋扈を招きたるとの、全く其趣きを異にせることを知らるべくなり、即ち支那は飽く迄支那にして、其軍閥財閥の交替は嬰がて支那の獨立と亡國の交替を意味するものと見られざるにあらず、換言すれば、軍閥が支那が列國共同監政の下に立つ時なりと考へられざるにあらず、即ち外人が廢督裁兵を高調すると共に財閥たらんとする研究系及舊交通系が殊に外人の所論を歡迎し、大に軍閥を攻擊し、武力時代は十九世紀の陳物なり、諸强國の挙々として頭を惱ます所のものは、獨り經濟問題のみと云ひ、時潮を援用しつゝあるが如きは、其左券なり

然れども支那の財閥は軍閥あるにあらざれば、立つべからず、軍閥と財閥は影の形に從ふか子く、分離すべからず、恰かも游離分子たる政客官僚が、軍閥なしに政治活動を爲す如し、然らば軍閥は永久止むべからざるべく、財閥も亦永久止むべからざるべく、只だ甲閥倒れて乙閥來り、午閥倒れて羊閥來るのみ、國家の進歩統一に於て何の益なく、列國共同監政の勢を促進せしむる意味に於て同樣なるにあらずや之ふを得べきや、是れ吾人の支那問題に對する機微の存する所にして、深く趣味を以て研究を要する所なり

列國共同監政の勢ひ切迫する時は軍閥の覺醒する機會にして、又官僚政客の最も困難なる立場に遭遇する時期なり、此に於て民心は自己本位に還らしむべき、一種の消極的力を生むことゝなり、共和の美名の下に專制せしめ人物は、愈破産せざるべからず親歐米に傾倒し財閥たらんとする

▼支那銀團の活動は留意に値ひする、中佛銀行事件も眞実電車問題から關係して居るが、之に國權恢復運動が含むでるッりである、東支鐵道でも成功し、近く獨逸商が對等に結ばれた矢先きの事なれば、此國權回收熱は當然の事じや、ケレども銀團の活動は財閥を攫り、行く〳〵軍閥を簒奪する魂膽があるとの噂がある

中佛の如き外國銀行を我物にし、名義は依然佛國にし、軍閥の難を逃るゝ方法にし、尙ほ積極的には二億萬フランを佛より借るとの稱し、事實は支那銀團の金で活躍する積りだッりである、更らに酷きは今後在支有力なる陸豊銀行をも簒奪し、籍りて以て支那銀團の勢力を扶植する魂膽があるとの事である、國權回收は官僚軍閥をして崇外輕内の氣風を改むると云へば立派だが、其實は財閥で以て軍閥に取りて代はる方法の前提だと推せらる、何となれば國權恢復熱で、軍閥官僚が安全機關として、預金せし外國銀行より金を引出さしめ、其金を靠く支那銀行に預金せしめ、軍閥の力を左右せんとする魂膽があるからである

▼左樣の魂膽は支那人としてあり得べき思付きなれども、之が術であつて、動機が善でなければ、何にもならぬ、愛國の凝り固りで誠意國權恢復からの計畫ならば、意義がある、果して然りであるか、少しく怪しまざるを得ない、何れにしても列國監政論が切迫して來ると、色々な利用することになる、即ち善惡共に之が利用せらるゝことになる、ギルバートの北京政府承認取消などがワイ〳〵問題になつたり、太平洋會議が問題となる所、支那關淡水、新竹、屏東、花蓮港、臺東、澎湖島、東京、横濱、大阪、神戸、香港、廣東、汕頭、厦門、福州、大沽、漢口、新嘉坡、スラバヤ、スマラン、九江、紐育、倫敦、孟買、桃園、バタビヤ其他各所ニ取引先アリ

上海黃浦灘路第拾六號

臺灣銀行

支配人 柳田直吉

支配人席	一、三三二
輸出輸入係	二、一六三
預金、送金係	三、四八〇
丁客專用	三、四八一
買辦部	二、八四一

碌々錄

●資本金 壹億圓拂込濟

●積立金 五千三百萬圓

本店 横濱

支店 東京、神戸、大阪、長崎、下之關、倫敦、里昂、漢堡、シドニー、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、布哇、孟買、カルカッタ、蘭貢、新嘉坡、スラバヤ、マニラ、西貢、香港、青島、濟南府、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾賓、鹽浦斯德、バタビヤ、スラバヤ、ジエノス、アイレス、リオ、デジヤネイロ

上海黃浦灘路三十一號

横濱正金銀行

支配人席	二〇〇
輸出係	二〇〇
輸送係	七〇七
輸入係	二〇二
預金係	三〇九
出納係	三〇四

電話

●資本金 壹億圓拂込濟

●積立金 五千三百萬圓

●拂込濟 一〇、三八〇、〇〇〇圓

●積立金 六〇、〇〇〇、〇〇〇圓 四五、〇〇〇、〇〇〇圓

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、高雄、宜蘭、淡水、新竹、屏東、花蓮港、臺東、澎湖島、東京、横濱、大阪、神戸、香港、廣東、汕頭、厦門、福州、大沽、漢口、新嘉坡、スラバヤ、スマラン、九江、紐育、倫敦、孟買、桃園、バタビヤ其他各所ニ取引先アリ

週間要報

忌憚なき列國干政論

▲北京政府の承認取消論▲
▲太平洋會議と支那前途▲

（一）

六月二十九日附北京通信ギルバート氏は北京政府承認撤回を主張するの長文をデーリニュースに寄せたり茲に一々譯載するの炊を避けざるべからざるが、其大要は支那を第一革命後各國が未だ支那政府を承認せざる狀態に置くべく、現在の北京政府承認を取消し、公使團は依然支那に留任し、外債と關係ある稅を收管し各省督軍に對しても亦其生滅に聽かし、以て支那人民の自ら民意的政府を組織するの時を俟つべしと云ふに在り、即ち其一節に北京政府承認の取消は實に支那の政治改革の爲め苦境を脱離し有力なる中央政府を建設する好機會にして稍支那に通せる外人は此說を然かりとせざるなく、人人ぎ氏の說明を待たずして明かにしあり是れ適全國の內亂を誘起する所以なり、排斥せらるゝ官僚に一旦勢を失せば、必ず全力を以て國民と外人とを挑發して難を與へ外人は秩序恢復の目的を以て武力干涉に迫まるべしと云へども余の意は重きは此を籍りて支那の善良なる階級と共に政權を掌握せるものを除去する好機會とするに在り、承認を此儘とせば物質的も道德的利益も共に發生するに由なし、若し余の意が支那人の一度希望に出で然る後外交團が其要求に從ひ實行すべきか若し支那人自身が此擧を國に不利なりとせば余の說は自ら無効に歸す、と云ふが如き文句あるに視て明かなり、要するにギルバート氏の通信は激烈に支那の革新運動に同情し軍閥政治に反對し、親日官僚を惡むものにして、或は研究系等一派より騙られし言にはあらざるか、何となれば研究系は親日派の政治家を痛く壓ふと共に、又國內の心あるものより排斥せらるゝ爲めぎ氏がかゝる報道を敢へてするは、軈かて英米人本來の野心たる日本を牽制するには、列國共同干政を慫慂せざるべからず、而して始めて英米人の心を慰め得べけれども、何れにしても互に相依り相助けてかゝる報道を此際持ち出さゝるべからざるに至りしは、支那內政の咎めにして、最も腐敗し卑下されたる政局と云はざるべからず即ち彼等は勢ひ外人によりて彼等の政治的活路を求めざるべからざる輩なれば、而してぎ氏のかゝる報道を敢へてするは、軈かて英米人本來の皆困難問題あり遠く顧みるの暇あらず、所謂列國干涉なる者は結局必ず一國あり獨優勢を占む即ち此議の由來亦未だ必ずしも之によりて醞釀せずんばあらず此れ又國民の警悟すべき所なり、政府は軍閥を恃みて其地位を保ち國民の呼號を顧みず、外人の警告も亦觀るなきが如し、一方軍閥に依賴するの故を以て其恣肆を逞ふし惡爲さゝるなく、苟安是れ事とする所あるやと云ひ、中華新報はぎ氏の論は一事を忘れたる論なり、夫れ列强の對支關係は各異なれり、且つ一國の中亦種々の派あり、列國はぎ氏が云ふ如く萬一致し難し、若し一度各國の間を挑撥せば勢必ず先づ若し吾人の見を以てせば徐世昌君は全國官吏及國に對し宣言して以て統一を要求し政府改造の決心を聲明し全國の人材を集めて憲法組織會議の方法を解決し並に將來憲法成立後憲法に依り根本的に改造すべし、吾人は北京當局にして此決心を下せば輿論の援助なきを憂へず、督軍の服せざるを憂へず、西南亦同意せざるを憂へず、國家の安危は一に反掌の事のみ若し此を捨て、爲さゞれば必ず計りて各國は坐視して救はざるを得ず、支那は羣を離れて獨り居るべからず此過渡期に當りては自然人あり出でゝ之が扶持を爲す當然なりと云へり

（二）

此報道あるや親米機關新聞報は是れ外交上の大危象にして歷史上あらざる奇變なり、今の政府自ら其咎を取るは誠に惜むに足るなければども外人の論調は實に列國干政に重きを置き其名を美にして改革扶持と云ふも實は我を以て保護國とせんとす、此れ我國民の深思すべき所なり、更ら一國あり獨優勢を占む即ち此議の由來亦未だ必ずしも之によりて醞釀せず云ふも亦甚だ危險なり、然りと雖も吾人は支那の有勢力者はぎ氏の文を讀むべし其言の惡意たると善意たるに足る、國民は日日外交を爭ひ國權を爭ひ顚維鈞が國際聯盟行政會に在りて職務を執行するに在りて在支英人機關報は乃ち此等政府承認取消の研究を發表す、是れ支那有勢力者の頭上に對する棒なり、夫れ有勢力者の志は一言之を云へば權柄を把持するのみ、然れども抑も此等誤國殃民の政治、四分五裂の現狀は把持せんと欲すも把持すべきにあらずや、若し吾人の見を以てせば徐世昌君は全國官吏及國に對し宣言して以て統一を要求し政府改造の決心を聲明し全國の人材を集めて憲法組織會議の方法を解決し並に將來憲法成立後憲帝國と支那との關係は最も留意に値ひす、即ち日本と英米との協調は少からず日本の留意を要する所なり、日英米協調が直ちに支那を處分することを意味すと取る樣に感せらる時なり、日本は協調して支那より惜まるゝことゝなる恐れあり、恰かも東亞に於て外人の處分を待つて手を罷む吾人は北京當局者の猛醒し更らに各方面の有勢力者と一般國民と共に覺悟して改造と統一の實を擧げんことを希望す

（三）

新聞報は列國干政は一國の獨占となるのみと稱し、英を諷刺し政府を警醒せしが中華子は徐世昌と脈絡ある統一派なれば英人の所論に對し、外人方面の一致行動の容易ならざるを云ひて預じめする所あると同時に我統一派たる立場を擁護し統一促成に資したり、列國干政論は要するに軍閥の勢力ある間は列國の野心を遂ぐべからざるが故に改新派を出さん爲めにして、從來と同じく、日本の勢力を忌み之を牽制せんが爲めの議論に外ならざるなり、日本の東亞に於ける天與自然力に對する嫉妬の聲なり、稅關既に然かり、郵便然り、鹽稅然かり、今後烟酒又は鐵道管理となるは當然なり、事實に於て列國共同干政の下に立つは勢なり此勢は抗すべからずと云ふも、談何んぞ容易ならんや、此論出づれば出づる程支那の青年政客の多くは、排日熱を擴大し排外熱を釀成すべし、否な日英同盟更新反對熱の如きは確かに排英と云はんよりは排外熱の先兆なりと云はざるべからず、蓋し英を排するは軈かて米を排することも、日本を排することも包含されて居ばなり此傾向は益向上すべき形成あり、從つて現に文化的に離るべからざる我國と支那との關係は最も留意に値ひす、即ち日本と英米との協調は少からず日本の留意を要する所なり、日英米協調が直ちに支那を處分することを意味すと取る樣に感せらる時なり、日本は協調して支那より惜まるゝことゝなる恐れあり、恰かも東

日清汽船株式會社

上海出帆

鳳陽丸　南陽丸　襄陽丸　岳陽丸　瑞陽丸　郵船棧橋ヨリ發
大福丸　大貞丸　大利丸　浦東棧橋ヨリ發

電話　輸出　輸入　船客　宿庶務　直
一三四五　三二五九　四七六

上海支店

上海廣東路十四號及十六號
電話　浦東棧橋　監督　四七四　一八七四

漢口宜昌線　一ヶ月六回
漢口湘潭線　一週二回
漢口常德線　一週二回
九江南昌線　一週三回

三菱鑛物分析所

上海廣東路九號

石炭　製紙　電銅　硝子　電

鑛物分析　鑛物話　鑛山調査

一九二〇二九六四〇三三五六

亞保全の爲め日英同盟なり日露協約なり、日佛協約なりを結びて支那より排出せられたるが如き場合なきにしもあらず、只だ當時と異なる所以は、日本が共同干政を好まざることの即ち支那の獨立保全を熱望しつゝあることは、さて愈々列國干政の聲が劇しくなれば、自然日本を恃む外なき氣配を生ずるに至ることゝなる點あり、即ち日清戰爭後三國干涉あり間もなく支那に失權喪地の事多く露英佛の行動即ち西力東漸を恐れ、自然日支親善の高調されたる時もありたればなり、現に日英同盟更新問題に就き、スマツ將軍の所謂太平洋會議論ありて以來、更らに日英同盟更新に關する延期說及太平洋會議說が濃厚となりしに就き、支那紙の一が稍慨ほてたる趣きあるは注意するに足る、遠水近火を救はず、遠きは近きを隔てずとの謂ひに違はざるを知るべきなり

（四）

本日六日倫敦電報に兩電報ありたり（一）はニューヨーク來電曰くフィラデルフィアのパブリックレッヂャー紙に據れば太平洋に關し三國協約を締結する爲め英國及び日本と協同すべしと米國に向かつて正式に提議せられたり同紙附言しく曰く米國政府は最も愼重に本件を考慮しつつあり是れにして（二）はエヂンバラ大學アーサーバーリヂールケイス教授は新聞に寄書して曰く英國及び日本は若し日英條約を繼續せんと欲すれば國際聯盟規約第二十條に據り絕對に之を改訂する義務あり且改めて條約締結に努力する了解に於て日英條約終了の一ケ年の豫告を與へざるべからずと氏は又諸屬領地に關する困難は新條約が屬領地議會の協賛を得ざれば屬領地に適用せずとの條項を設くるに依り除去せらるべしと論せり

註　國際聯盟規約第二十條に曰く聯盟國は本規約の條項と兩立せざる聯盟國相互間の義務又は了解が各自國の關する限り總て本條約に依り廢棄せらるべきものなることを承認し且今後本規約の條項と兩立せざる一切の約定を締結せざるべきことを誓約す

聯盟國と爲る以前本規約の條項と兩立せざる義務を負擔したる聯盟國は直に該義務の解除を得るの處置を執ることを要す是れなり

此兩電報に根據して中華紙は大要に曰く日英同盟延期說及太平洋條約に就き國民に苦げざるべからず、夫れ日米の爭は多し加州問題、西比利問題ヤップ問題は皆衝突の原因なれども尤も重大なる者は支那に對する競爭なり、是を以て若し日英同盟の目的が支那に在るを知らば所謂太平洋條約の醞釀其目的も亦支那に在るを知るべし故に之を簡言せば太平洋會議なる者は即ち對支會議の謂ひなり此を除く他は皆附屬の事なり、支那は已に日英同盟更新に反對せり、則ち更らに米國參加の太平會協商に反對する能はず、吾人の望む所は國人が急切努すべき大會議に對し發言を求むることなり、支那が日英同盟に反抗するの原則は凡そ支那に關することは支那の同意を要するに在り此原則は醞釀中の日英米協商に對しても亦當然之を通用すべく今其未だ進行せざる前に乘じ國民は預じめ表示する所なかるべからず、第一若し太平洋會議開かるれば支那は代表を派し共同責を負ふべし第二此種の協商に割にテキパキしたる報道なきは直派も直派たり陳樹藩も陳樹藩たり、共に取るに足らず、ソレに曹錕が閣相文の爲めに討伐令を下せと要求せば參陸處は之を許さず、又馮旅の師團編成を要求せば參陸處は師團編成は陳樹藩も要求せる時なれば不便なりと云ひ許さず、と報せるが、是れ中央の煮へ切らざる證左なり、或は吳佩孚は陳は抗命して軍心瓦解せり日英米の協商要案の一なるが、此問題は國際聯盟規約第二十條に曰く聯盟國は本規約の條項と兩立せざる聯盟國相互間の義務又は了解が各自國の關する限り總て本條約に依り廢棄せらるべきものなることを承認し且今後本規約の條項と兩立せざる一切の約定を締結せざるべきことを誓約す

聯盟國と爲る以前本規約の條項と兩立せざる義務を負擔したる聯盟國は直に該義務の解除を得るの處置を執ることを要す是れなり

此兩電報に根據して中華紙は大要に曰く日英同盟延期說及太平洋條約に就き國民に苦げざるべからず、夫れ日米の爭は多し加州問題、西比利望は將來太平洋會議實現の日は根本的に支那を處分するの案を提出し以て日米紛糾解決の具と爲さずとは云へば米は固より同意する能はず然れども支那內政の混淆及一部外人の絕

陝西の自治は陳樹藩の地位倥偬、廣西馬濟の六月二十八日附通電廣西自治も皆自治の根本とは沒交渉なり、湖南四川に至りては最先に自治を唱へたれども、其民意を以て基礎とせざることは云ふ迄もなく未だ何等の成蹟を擧ぐる能はず、其處になれば馬濟の通電は武人率直の概ありて却りて多とすべき所あり、此の時に當りて中央は天下の耳目を掩ふべく七月三日附を以て市鄉自治制に關する條例を公布し、併せて先づ省憲を制定し、其上に國憲を制定するなど宣傳して、風潮の氣を殺ぐに努め始めたり、即ち緩和の爲めに制定せられたるもの七章七十八條に亘り鄉自治制は三十三個條より成り著しく自治の實際に觸れ從來曾つて見ざる所の地方自治色彩濃厚ならしめたり、然れ共果して之が運用如何未だ施行細則の制度を見ざる爲め施行着手の期日不明なるも運用の如何に依りては秩序ある地方自治の目的を達す可きものあるも單に形式のみに止るものあるべし兩自治制の大要を擧ぐれば左の如し

▲市自治制度　第一章總則は十四ケ條に分れ市自治團體は人口一萬人以上の都市に施行され同以下は鄉自治制とし市を分ちて特別市並通市の二者と爲し特別市は內務部呈請に依り敎令を以て定めらゝ可く兩市共法人にて監督官廳の監督を受け一切の市事は市公所に於て辦理し市住民にして一年以上を經過せる滿二十歲以上の男子は總べて選擧權を有す但し年直接稅一圓以上を納付する者、動不動產三百圓以上を有する者、曾つて或は現在公職及び敎職の任にある者曾つて國民學校以上を卒業し或は之に相當する學力を有する者等のみにして市住居二年以上に及び滿三十五歲以上の男子は、直接國稅二圓以上を納付し、動不動產五百圓以上を所有し公職敎員の職に一年以上を經たる者及び高等小學卒業以上の學力を有する者は均しく被選擧權の資格を有す、然して公權褫奪者、禁治準禁治破產の宣告を受けたる者文字を識るに於ては一名を增加し特別市は三十名普通市は二十名を限度とす會員の任期は二年とし每年半數改選を爲す自治會の職權は市公約の議決、事宜制理、經費籌辦、預算決算の議決徵稅事務公債募集市財產賣買、其他にして普通市にありては之を市長に交付して執行せしむ

▲市參事會　特別市は市參事會を設く這は市長、佐理員、區董名譽參事員に依り組織され自治會の議決事項に對し更に審議するものにて市長を會長とし自治の最高機關となすものなり

▲市職員　市に自治公所を設け市長は自治會に於て居住者の被選擧資格を有するの中より選擧市長の職權は自治會の議決事項を執行し特別市に在りては市參事會の議決を執行す

其他第五章經費第六章市鄉組合第七章監督等に分れ鄉自治制度は大體に於て之に同じきものなり

●外蒙討伐と張作霖

▲對外國對露方針▼

外蒙古討伐は其後聲のみ大にして更らに進展を見ざりしが、ウンゲル男の非なる境遇を見るや、張作霖は急に經略使に就任するに至れりと報じ一日發奉天電報は張は內蒙古王侯と預備會議を爲し、外蒙を內嚮せしむることゝし、各王公は確定に相當の利益援助を與ふることを約せりと傳へたるが、張作霖は政府に向つて蒙古經略使として蒙古討伐準備の爲め道南府訪問の必要あり張氏不在中張作相を以て督軍代理として奉天督軍衙門を管理せしめ財政廳長王永江を省長代理とすべしと通告したり、之に對し國務院は張に返電して曰く執事經略使に就任せしは治蒙の決心の積極的なるを見るに足る、然かり外蒙默察するに亂事早成る希くば速かに懷柔政策を用ひて活佛の省梧を勸誘し早く外旗と脫離せしめんことを、同時に外交團に向つて外蒙責礦借款は均しく無効に歸すと聲明し一面內外蒙古王公各旗蒙衆を安置し己むを得さる時には直に撻伐を張る

尙ほ六日發のロイテルは外交關係に就て電報を寄せたり、其內容に曰く外交部はウンケルン男に對抗すべく勞農政府及び支那政府間の協力を提議せる勞農政府外相チチェリンよりの通牒に答へ莫斯科政府に通告して曰く支那政府はウンケルン軍討伐の全責任を張作霖將軍に命し張作霖將軍は此目的に對し十分なる兵力を有すと同回答は附言して曰く支那政府は滿洲に於けるセミョノフの運動を熟知し居れりと雖も之を處分する事につき何等困難を感じ居るものに非らずと

更らに東方通信社は左の如く傳へたり

各方面の報道を綜合するに張作霖の對蒙古策は愈近く積極的行動として實現さるゝに至るべし今蒙古側の現狀を見るに過般恰克圖南方の戰爭に於て破れたるウンゲルは今後再び從來の如き活動振を發揮する事困難なるべく南下せる蒙古軍は一度敵の虛に乘じ六月上旬滂江を占領せるも其の後再び支那軍の爲め奪回され去る六月二十六日二十七日兩日に亘り約二千の一軍來襲したるが、之又不成功に終り目下滂江は支那軍の手に帰し、曾て經棚、林西方面を襲擊せる蒙古軍も其の後熱河方面より約一萬の支那軍出動せる爲め內蒙古內に退却し其の後同方面は靜穩なり、又海拉爾を中心とする呼倫貝爾の勝福の舊部下等は露國勢力の失墜と共に全然從來の勢ひ無く黑龍江督軍の命令に服從し居る有樣なれば今は唯だ主戰論を爲しつつある淘汰圖一派と敗殘のウンゲル軍の一部のみ張作霖は曩に征蒙の命を受くると共に熱河綏遠察哈爾三特別區域を自己の勢力の下に置き着々蒙古征服當時の計畫を進めつゝありしが征蒙費として昨四日北京より奉天に送られたる約七十萬元を合せ今日迄に總計五百萬元の現金を得既に數日前迄に天津にて自動車百五十臺を購入し軍需品の蒐集に努むる一方張家口陶林、林西の各方面に增兵し盛んに南部東部より攻擊を開始するが如く裝ひ居れるが更に奉天に於ては二十七師に動員を命ずると共に麾下の東三省軍より精鋭三混成旅を選拔し自ら之を率ひて滿洲里に赴き二百五十里を突破し庫倫を突かんとするものゝ如く張作霖の護衛隊を始め出征部隊は來る十日迄に諸準備を完成する筈、猶今次の攻擊軍には奉天より飛行機隊をも參加せしむと

●王占元の留任

▲靳雲鵬理由を說く▼

湖北問題は宜武兵變に乘じ王占元排斥の聲となり、此間に中傷あり、離間あり、奉直兩派の爭執に事寄せられたるものなるが、靳は在京湖北同鄉人の排斥要求に對し、王免職不可能なる理由を說明したり、即ち在京湖北人代表者十一名が（一）王占元を直に罷免する事（二）王占元の財產を沒收する事（三）武昌掠奪事件被害者に相當賠償を爲す事の三個條を要求せしに答へ靳總理は指摘して曰く王督軍は北京に在りし時武昌に在る其軍隊の一部を解散すべしとの訓令を受けたる所武昌の官憲がそれにつき未だ何等の處置に出でざる前解散計畫が洩れたるが爲め不滿を懷ける下級將校が反亂を企てたなりと總理は附言して曰く天津會議は余が主要政策の一なる此裁兵を決議せるなり又余は在職中既に三十萬の兵を解散せりと

兵變の結果として王占元督軍を免職せば將來解散さるゝ恐れある各軍隊の叛亂を奬勵することゝなるべし政府は武昌官憲に懈怠の罪ある事を十分認め居るなり何となれば若し適當なる警戒を加へたりしならば兵變は起らざりしが故なり然れども武昌には王占元其他司令の下に尙ほ八万の兵あり若し新督軍を任命するならば此等軍隊の實狀に通せざるを以て又も擾亂發生する虞れ無しとせず其場合に第一に難義する者は人民なり王督軍は裁兵に關して若干豫備手段を講じ且つ一般に亘りて改編を加へ此上擾亂起らざるべしと滿足し居れり故に政府は直に王督軍罷免に決する能はざるなりと

王督軍私有財產沒收の提議に關して此事は府院の權限以外に屬し人の財產沒收は法律上の手續を經てのみ行ひ得べきなり陸軍部は兵變に對する王督軍の責任につき調査を行ひつゝあるを以て十分なる報告の到着次第政府は必要と認むる行動を執るならん某々下級將校が兵變の責任者たる事既に明白となり彼等免職の上裁判に付したり

掠奪被害者に對する賠償問題に關

扱取品
棉花
綿糸
綿布
生糸

Ⓜ

本店　大阪
支店　東京、横濱、神戸、天津、青島、漢口、大連、香港、孟買、甲谷陀、紐育、オースチン、フォートワオース、ヤトシル

江商株式會社　上海支店

上海北四川路五十五號

電話　支配人席　中二九六四
　　營業室　中二九六四
　　取引部　中二三四八
　　支受賠償計算部　一二二人
　　〇一二九二四

資本金五千萬圓
拂込濟參千萬圓

上海廣東路九號

株式會社　三菱銀行

本店
支店
東京　丸之內　深川　日本橋
大阪　中ノ島船場　神戸
京都　名古屋　倫敦　紐育

して政府は調査を開始せると共に王督軍に特別訓令を發して損害の證明せられたる向きに對しては總て賠償を行ふことゝせり

●國民大會の宣言

▲日英同盟更新に就て▼

日英同盟更新反對熱は由來連續し止まざるが、此問題は要するに支那の日に非なる爲め、一に日本を攻擊して止まざりし排日熱の擴大せられたる現象として頗る留意に値ひすべく、或意味に於ける體好き排外熱の發露とも稱すべく、英先づ其槍玉に擧げらるゝに至りしは更らに留意の度を深ふせざるべからず、之に支獨條約及東支鐵道の回收等前後せる點より云へば國權國利回復熱亦此聲を大にせしむるに大に與かりて力ありと云はざるべからず、今當地國民大會其後の排英に對する更新反對模樣を示さん、即ち上海國民大會は六月二十六日の議決に根據し本月三日世界各支那人士に對し、大要左の如き宣言を發し、併せて日英同盟更新に反對する二つの結果を數へ立たる宣言をも發したり

中國人民は本和平を篤愛するに卒かに和平を得ざるは其原因四あり武人各地盤を爭ひ北京政府は唯だ其の意旨に隨ひ人民は干渉するに由無し之が爲め前任の官吏は去るを背んぜずして新任の官吏來り戰爭起るこれ原因の一なり西南各省は自治を提唱し廣東の成績最も優れたるに北京政府は敵國と視陸榮廷に進攻を促し甚だしは日本船に托して現銀及び軍火を廣西軍に接濟す之原因の二なり、人民の身體居住旅行言論出版及び通信種々の自由權は悉く北京政府及び各省武人に剝奪され最近北京學界は教育費を請願して衛兵に毆傷されたる之原因の三なり北京政府は少數武人に悅を取り一年に三千七百餘萬の軍費を消耗する外外債を濫用し苛稅を新增し兵士の月給料は長官が侵蝕し宜昌武昌に兵變如きもの頻發せり之原因の四なり又中國人民は本統一を篤愛するに卒かに統一を得ざるは其一原因又四あり去年西南政府首領は國會恢復し日支二十一ケ條廢除を宣言し北京政府と議和せるに北京政府は脅威利誘し之を破壞したり之原因の一なり張作霖、曹錕各雄を爭ひ北京政府に双方に遷就し政府の號令は都門を出でず之原因の二なり張作霖は露國舊黨及び某國軍民と訂結し政府は反つて蒙疆經略使及び四百萬元を張に與へ而して前敵將士は軍器缺乏せり之原因の三なり門戶開放と各友邦平等互助とは中國人民の外交に對する公共方針なり然るに北京政府は獨り某國軍閥に諂媚し直接中國の主權を失ひ間接に世界第二次大戰爭の禍根を伏すこれ原因の四なり

▲支那の主權に及ぼせるもの

一、日本の侵力が東三省に侵入したこと

二、東三省の門戶開放政策が頓挫したこと

三、千九百十七年日本が英佛伊露の四國と秘密條約を締結して青島を占領したこと

四、日本が支那に對して二十一ケ條を要求したこと

五、滿蒙鐵道及び高濟、順徐兩鐵道が日本の手に委ねられたこと

▲世界の平和に及ぼせるもの

一、日露戰爭

二、朝鮮の滅亡

三、巴里講和會議に於て米國大統領ウイルソン氏が失敗して山東問題が議決されたこと

四、米國の講和會議代表が憤怒して米國人民が激昂したこと

五、支那の痛恨（山東問題失敗のため）及び日本を仇敵視すること深きを加へたこと

六、米國上院の講和條約反對及び國際聯盟を脫離したこと

●兩廣の形勢

兩廣の形勢は其後大變化なきが、抑も雙方戰爭を開くに至りしは、全く陳烱明と孫文派の爭執より來れるものと云はざるべからず、夫れ孫文派は孫文を大總統に擧げて正式政府を作り、天下に號令し廣東の一角より聲して以て立たんとするものなれども陳烱明は廣東の一角を充分自治的に地盤を拵へ漸次他に波及すべく先づ第一廣東の一角を固めざるべからずと主張するものにして、一は對外に重きを置き、一は對內に重きを置くの差ありたり、孫文は可成廣西を進擊せんとし陳烱明は否らず、此意地の行違は總統選擧時代より顯はれ居たり、然るに陳は孫文派の勞働者煽動によりて已むなく總統選擧に贊成したるが其後孫文は廣西侵擊に對し、極力斡旋し、彼の部下許崇智をして活動せしめたり、之が爲め廣西軍も動き備へざるべからず陳は謂はゞ牛に牽かれて善光寺參りの姿となり、廣西軍の活動と共に廣東を空にして梧州方面に兵を送らざるべからずとなれり、然るに梧州は陷落したり是れ大疑問にして廣西方面は重きを廉欽方面に置き、預定の退却を爲したるものゝ如く、北江方面に於て愈積極的に出でなば廣東を衝くことと容易なるにあり、然れども廣東人と廣西人は全く兩立すべからざるば廣東も愈々攻められざれば困猶ほ鬪ふ如く、容易に下るべからず、又廣東軍の廣西入りも容易ならず、從つて兩廣の形勢は互に死命を制すべからざることが公平の觀察と云はざるべからず、但し大局動きたる時は瓦解せる西南諸省を相手として恃む廣東の將來は悲觀なきを得ず、況んや孫文陳烱明の內訌が已に由來久しきに於てをや、大勢は此くの如しとして廣東香港よりの諸電報は頗りに廣東の優勢を傳へ、北京方面は廣西に都合好き電報なれども是れ皆プロパガンダのみ、信ずるに足らず、斬の兩廣長江方面に對する見解に就ては報じて曰く

國務總理靳雲鵬は最近往訪者に對し廣東、廣西の戰爭に對しては北京政府は當分傍觀し孫逸仙を敵體と見爲さず孫逸仙討伐命令を唱ふるものあるも其必要は無かるべし若し陸榮廷が維持す能はざるに至らば政府は軍費軍器を供給することあるべし又湖北、湖南は聯結し江蘇江西は浙江督軍の盧永祥の北方軍權聯省自治主張に附和せざるを以て長江の形勢は何等變化せず聯省自治は法律に據る所無きものなるを以て革命と見るべきものなりと云へりと

又別報として北京參陸廬は廣西援助の爲め會議を開き福建督軍李厚基西軍も動き備へざるべからず陳は謂はゞ牛に牽かれて善光寺參りの姿となり、廣西軍の活動と共に廣東を空にして梧州方面に兵を送らざるべからずとなれり、然るに梧州は陷落したり是れ大疑問にして廣西方面は重きを廉欽方面に置き、預定の退却を爲したるものゝ如く、北江方面に於て愈積極的に出でなば廣東を衝くことと容易なるにあり、然れども廣東人と廣西人は全く兩立すべからざるば廣東も愈々攻められざれば困猶ほ鬪ふ如く、容易に下るべからず、又廣東軍の廣西入りも容易ならず、從つて廣州援桂軍司令谷正倫は混成二個旅を率ひ黎平より南下して廣西に入り先發隊は既に長安に到着せりとの公電來れり（二）小川丸事件に關し廣東各界聯合會學生聯合會は聯署を以て日本領事に抗議の公文を送り來りたるが右に關し藤田總領事は日本政府の公正なる態度を說明したる支那當局に宛てたる公文書を公表せる が民黨機關紙二三を除く外其他は全部藤田總領事の公文を掲載せり（四）黃大偉胡漢卿、鐘景棠の廣東軍は三路より高州を攻擊し去る五日確實に恢復せりとの公報達せり（五）魏邦平軍の主力は籐縣を占領せるが目下平南縣に進行しつゝあり許崇智軍は謝文炳懷集より關國雄趙國近廷都より夫々智縣に迫らむとしつゝあり智縣は沈鴻英の大本營にして安々陷落すべくも非ず一大接戰を見むとし內外注目の焦點となり居れり廣東軍は去る三日陽山を恢復し連縣連山も既に恢復せりと傳へらる（六）廣東大理院徐謙を會長とする基督教協會は日英同盟繼續に關し英國に反對の通電を送るとと共に米國に勸告して共和國聯盟會を發起組織せしめ其の力を以て日英の提携を阻止し以て世界の平和を保留すべしとの決議を爲したるが聞く所に依れば去る四日英國首相及び米國大統領に通電せりと要するに兩廣の形勢は未だ大戰爭を見るに足らず、隨つて記すに足るものなし

尙ほ欽廉方面は粵軍に不利にして二日確かに陷落したりと云ひ又在粵雲南軍は廣西軍に投降せりと云ひ更らに北京方面は政府は陸潭沈等に對し韶州を取りしは全局の勝利に係はる大度南雄に江西軍の守り固く李厚基亦病愈へたれば臧致平を潮梅に進攻せしむべしとの旨返電せりと報せり、プロパガンダならんも、廣東軍は愈不利に陷れるが如し

一資本金壹億圓
一佛貨資本金六千萬圓
法定準備並ニ別段積立金貳千七百萬圓

株式會社三井銀行
上海福州路一號
電話 營業所 三二六六 同 支店長 三二六六
買辦 二二九〇 同 二二八七

本店 東京
支店 東京、深川、東京、箱崎、小樽、橫濱、大阪、大阪西、大阪中、島、京都、大阪口、神戶、廣島、下關、門司、若松、長崎、名古屋、門司

資本金七千萬圓（內佛貨四千萬圓）
諸積立金一千八百萬圓
本店 大阪
支店 東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戶、兵庫、尾道、新居濱、吳、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布哇、桑港、孟買、漢口、シアトル、紐育、倫敦、

株式會社住友銀行
上海九江路十號
電話（營業用）三四六六（同上）三五三六（貸辦用）（支配人約）

上海報界の過去及現在（三六）

□西南破綻と段派の和議

▼上海寓居の孫文は八月七日附を以て、廣東參衆兩院に宛て、西南實力派の罪狀を掲示し、併せて北政府の行動に對して、一切責任を負ずとし、總裁の職を辭する旨の特電を發した、是れで西南政局の大破綻を公然立證せるものであつて愈々從來の如く形式上の團結は望まれなくなつた、所謂法律問題を以て解決すべき南北和議がドウなるか、西南を破綻せしめたことは徐世昌岑春煊等實力派の交渉となり、政學會派ブローカとなり、孫文等は軍政府に居ても居ないと同じ樣になつた其矢前き、和議が段派に奪はる樣な形勢がなつたから、孫文派は自ら進んで西南を脫離したものだと解せられた、之と同時に七月末頃から孫段握手說が頻りに傳はつた、けれども眞逆民國元年の樣に白國借欵を以て孫文が袁世凱と握手した樣な譯には行くまいと解せられ、多くの人は之を信じなかつたのである、只だ形勢がソー云ふ風に見ゆると思つた迄である、之と同時に護法後援會の名を以て章炳麟等硬派民黨は唐紹儀が徐世昌と脉絡あり、大借欵の山分を受けん爲め和議に與かつたことを素破抜き、阿附借款賣國の罪狀を天下に宣布するに至つた是れ七月三十一日である

▼然るに一ヶ月前より流布せられた段派安福系の首領王揖唐は八月十二日附を以て、朱啓鈐に代りて北方和議總代表となつた、武力解決派の段黨が自黨より和議總代表を出すに至つたことは、軈て徐世昌の和議の如何とすべからざるに由ると云ふ、奇異の感じを與へだたのである、同時に孫段握手說が大分深く疑はれる樣になつた何となれば苟くも段派が和議を云ふ以上、孫文等との脉絡がなければ、功を奏し難いからと思はれたからである、之に對し南方輿論一ヶ月前王揖唐反對があつたよりも事實せるに驚き安福系の總代表決定によりて和議を討論するのは、南方の北方に對する投降と異ならぬと云ひ、或は和議は到底王の出廬によりて成立するものでないと云ひ、或は和議に誠意はないと云つた、政學會派新聞に至りては、南方提出の條件は軍閥を排し、武人を制御するに在る、軍閥の爲め餘力を遺さゞる王揖唐と相見へて爭かで新國會を犧牲にし得べき要するに王揖唐の任命は安福系の陰謀に外ならない南方は斷じて北方の術中に陷つてはならぬと云つて警めたものである、然るに安福系ではかゝる反感を考へて居たから國是研究會なる銘を打つて、各方面に對し王揖唐の總代表任命を謳歌する通電を發せしめた、同會の外に五族和平合進會が聲を出したが、之れは民國八年に生れた許世英のものである、同じく和議の成立を慫慂する通報を發した、甚だしきは職工協進會とか云ふもの迄も和議促進電を發したから、安福系の上海に對する手は充分に伸びかけた譯である、要するに安福系は王揖唐に反對すれば和議を破壞するものは南方なりとの罪を嫁するの大勢を作らしむることに努めたものである、然るに王揖唐の任命に對し、西南政府はマダ回答せず、然れども廣東國會は八月十八日附を以て王揖唐の北方總代表任命は、西南護法の趣旨に反し法律上許容すべからずとの意味を通電し、更らに(一)王の人物(二)議和八ヶ條を承認するの能力なし(三)安福系罪惡(四)列國の同情喪失(五)和議破壞の罪を南方に歸し歸する所戰爭を開始せしむる媒介となる等の五理由を擧げた

▼かく王揖唐の任命に對する反對の聲盛んなる時に當つて、對支新銀團問題は列國の間に交渉頻りであつて、日本は滿蒙除外に決したとあつた爲め、在支英米字紙は、大に日本に對し惡口を吐いたが、親米派新聞報の如き日本の眞意は友邦に對し、共同の組織を破壞するを惜まない、侵略の目會も顧みないで悍然滿蒙除外を固持するかと云ひ、民國日報は日本は侵略し度いから滿蒙除外を云ふものである、新銀團は英米佛丈けで成立出來ないかと迄云つた、新銀團成立がかく問題となり居る矢先き、辛亥革命の成つたのは、全く白國借欵の御蔭であつたから、借款に對する政客の心理は到底外人の想像の及ばない程敏である、此を洞察せる總理代理靈心洪は、南北實力派間の直接和議交渉を促進せしむる爲め、二千四百萬元の借欵を銀行團に向つて要求し、其承諾を得るの見込みで以て須じ、南北を說いたものであつた、ケレども英米は滿蒙除外例に事を寄せ、此事は驚かで日本の段派援助の前提なりと云つて二千四百萬元の借欵を拒絕したと傳へた乃で此借款の不成立は、大に和議の成立を遲延せしむるものと解せられた、何となれば形式上北總代表定まり、法律問題等に就き彼此云爲されつゝあるけれども、和議に伴ふ借款が成立せねば實惠が施されぬからである、借欵を貸さねば和議成らざるものであるのに、和議が段派に奪はれたから、英米は日本のみ利にして我等に害ありと爲し、和議で統一したら新銀團は借欵を肯んずべしとの一點張りであつた、此に於て和議を阻害とするものは新銀團である列國であるとの觀があつた、善後借欵一部の先渡しは爲めに不成功に終つたのである

▼此外和議の前途に就き問題は、(一)徐世昌が果して段と蝦和するか、(二)第三者たる馮國璋派長江督軍の糸引背がドウかし(三)軍政府の運命であつて、護法及和議ブローカーの政客の行動はドウか、此等の難題があるから、段祺瑞が果して第二の袁世凱となる資格あるやが疑問になつた、狡猾なる徐のことなれば(一)は當てにならずドウにでもなるけれども(二)は大難題、借款と和議關係と比敵するのである、之を要するに和議の消息は南より北よりするもの何れが眞、何れが僞なるか、得て窺知するものでないけれども、王揖唐は先づ南京に至り其處で條件を諸り込むとの報道は事實らしく思はれ、之と同時に馮段の爭執復た發生すべしとの報頻りに至り、南方軍政府の態度がドウなるか、之れ亦頗りに悲觀的に報ぜられたが、今後の事は更らに次を逐ふて紹介するこゝろである

典籍と自己と現代（七四）

□王道不外乎人情

▽書に曰く偏なく陂なく王の義に遵へ好を作すことあるなく、王の道に遵へ、惡を作すことあるなく、王の路に遵へ、偏なく黨なく、王道蕩々たり、と、覆りもせず傾きもせず、正を失せず過不及なくして、而かも恒久に行はるべき中道が、即ち王道である、此王道は吾人が常に云つた如く無理をせないことである、即ち人たるものは已が一身の好惡によりて自由行動をしてはならぬとの謂ひである、人々の好惡に順ふから大中至正の義を以て、極を上に立て、天下をして共に此道に由らしめ、岐路に走らしめない所の人君が、國家社會に必須なる所以である

▽若し人心の同然に順ふべき其極たる君がなかつたなら、朋黨や閥が生ずる、朋黨や閥が生ずるとの理は、即ち自黨の都合好いものは之を好み、自黨に都合惡しきものは之を惡む、と云ふ工合になつて、好惡が衷心から出ないで黨見に成り、王道王路の遵ふべきものがなくなる、今日の支那上下が陥落とか、心闘とか議論とか、詔媚とか調停とか云つて、互に爭執して日に爭辯攻伐の中に在るのは全く王道を實際に行ふべき其位置即ち皇極なく、又王道を實際に行ふべき其人格者即ち人君なき爲めである

▽然るに『無有作好、無有作惡』から割出して『王道不外人情』と云ふ語がある、誠に適切で誠に效驗があると思はれる、人情の外に出ては、如何に立派なことを云つても駄目である、是れ支那の古代で君が禮を以て臣を使ふた其眞意味で能く窺はれる、即ち當時行はれた朝覲燕饗の儀式で充分認め得る三代以上の君臣の分は固より嚴なる處は嚴であつたけれども、互に情誼が通じて居て、親しこと骨肉の如く、敬ふこと師友の如くであつた、乃で臣死せば君は自ら祭奠に出掛け、君崩ずれば臣は三年の喪に服したものである、當時は皆自然の情誼上已むに已まれぬ所から爾かく出たもので、決して矯飾ではなかつたのである、所が秦以後は尊君卑臣の制度が出來、上下が隔離され、虛文はかりで實はなく、君臣間の情愛はなくなつてしまつた、一體君臣の義と云ふけれども、其義も矢張り性情から出る性情が衰ふれば義も亦人の心に明かになる譯に行かぬ、物極まれば必ず反る、尊崇の極自然凌夷となるのは當然である

▽今日の支那は民國成立以來平等說が唱へられて居るけれども、其平等說は恰かも秦以後尊君卑臣の制が行はれて、上下が隔離する樣になつたのと同じく、亦平等說の弊に陷りて居る、乃で支那は三代以上の君臣の分が後世私に偏するの制に變つたのに加へて、更らに外來の平等說の弊を以てしたから謂はゞ二重の惡化となつて居ると云はねばならぬ、隨つて今日の人心が日に非なる、又怪しむに足りない、此内と外よりする二重の惡化を除去し得るものは、眞に支那民族の恩人である、

春申壯飛電通信　本通信は支那言論界の中心たる上海日刊漢字紙の記事を選譯し電報　上海市內銀三弗

品質精良
醫療用藥品　醫療用器械　醫療用繃帶材料　理化學用藥品　工業用藥品　玻璃藥瓶各種　諸大家賣藥各種　美容化粧品各種
諸大醫御處方調劑處
濟生堂大藥房
上海南京路憲路角
電話二六一一北番五五

住友洋行
上海九江路五號
電報掛號
支配人室　中四六一九
庶務係　中四六二一
營業室　中三五三六
夜間用
營業種目
型銅
銅及眞鍮板、管、棒、線
鋼鐵管、釘、鉄及鐵線
各種被覆絶緣電線、電纜
鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械
鑛山用各種機械器具
人造肥料並硫酸、硝酸
石炭
快桑海上保險株式會社代理店

東方文化と吾人の大任（六）

陳嘉異

著作権保護コンテンツ

▲資本金　壹千萬圓
▲本店　北京
▲上海支店　江西路南京路北入

爲替取組先
東京、大阪、横濱、神戸、門司、長崎、京城、奉天、大連、北京、天津、青島、漢口、九江、福州、門廈、港香、新嘉坡、孟買、倫敦、紐育、其他各地支那各地

中華滙業銀行

電話番號（一般營業部）中一九四六　（支配人席）中一九四一

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉强可仕候行御引立の程奉願上候

合名會社
鈴木商店上海支店
九江路三號
電話　中三三三三　中二二二二　中九九九九　中二三四五番
本店　神戸市海岸通十番地

營業種目
堀井謄寫版、文具、印刷機械
印刷インキ、自轉車、護謨及製品、車輛、金庫、紙、藥品
穀雜、肥料、鑛石

TH
堀井謄寫堂支店
上海河南路七七、七八
電話（中央）參參貳〇
本店　東京
支店　漢口、天津、京城

機械、材料、文房具販賣

印刷、製本及紙器製造
（オフセット）……カレンダー・ポスター・株券・小切手
（石版）……レッテル・帶紙・商品券・カタログ
（活版）……諸會社用書類・レター・ペーパー・名刺
（紙器）……煙草函・各種サツク・ショーカード
（ジンク版）（凸版）（凹版）（銅版彫刻）

Shanghai Press, Ltd.
上海印刷株式會社
路而克司路三十三號
電話　北一二九六　〇一五二

雜報

●中佛銀行救濟問題

中法實業銀行本店營業停止の報當地に傳へられたる爲め恐慌を生じ同銀行發行の紙幣本月二日支那人間に不通となり一大問題となりしが、中佛銀行の倒産は、北京電車問題と關聯し、事實支那銀行團の金が北京電車の資金なれば、中佛の倒産は纏がて支那銀行の抬頭を意味するものと推せられ居れり、然れども北京銀行公會は、中佛を倒すにしたがて之を活かし、其實を得るにあらざるかと推せらる、現に北京銀行公會は此事に關し、左の通り發表したり

財政部及北京銀行公會は今回整理の爲め一時支拂を停止したる中法實業銀行が支那に於て紙幣を發行する の權利も特に支那政府より許可せられ居るの事實に鑑み而して佛支の商業的關係を維持して障碍なからしめ財界の安寧と一般の保持する爲め北京銀行公會は同行が現に發行し流通せしめつゝある紙幣を兌換する資金を融通するに決せり但し預金其他銀行の債務に關して銀行自身の決濟に待つ事としたり

而して公會は七月三日開催したる會合に於て前記の手段を實行するが爲め特別委員を指名し北京公使館及中法實業銀行と圖り一般公衆の不便を速に除去せんが爲め一日も早く兌換に應ずるの方法を講ずる事となしたり

右の結果其方法を決定次第兌換を開始すべしとの前記の如く北京銀行公會は全國金融同業者に對外信用起見維持の爲め其辦法を公決電告し同行の他種債務は該行自ら整理し該行發行の鈔票は代つて收兌する事を決し代表を推舉し北京政府並に佛國公使館中法實業銀行と商定交渉せしむることとしたり其方法左の如し

一、鈔票總數約二百萬元内北京約四十五萬元天津約四十五萬元上海約六十五萬元漢口十餘萬元濟南約四十五萬元奉天約卅萬元にして各處にて發行の鈔票番號は該行に於て調査し公會に交附し而して未發行のもの及び回收鈔票は該行及佛領事公會立會の上檢査し封鎖して領事に交附保管せしめ中交兩銀行代表に依り辦理すること

一、以上の手續辦法は公會より日を擇びて布告し公會代つて收兌する事に付ては査照を乞ひ隨時電告し又此間の兌換期日及摯款に附きては再電する

以上六日の北京電報は此事に關し左の如く報せり

四日銀行公會は中法銀行維持を續議し先づ紙幣を調査せるに北京四十五萬、上海六十五萬、奉天四十五萬漢口十餘萬、濟南四五萬、奉天三十餘萬、已に通電を發し日を撰びて代り兌換すべく馮耿光は周作民を推し荔孫張壽鏞等交を談じ臨時幹事部を組織せり、中法銀行閉鎖及邊業北法保商各銀行は何れも影響を受け四、五兩日は取付に遭ひ紛擾せり

●米店罷業問題

共同租界米店は七月一日以來同盟罷業を行ひ居れるが工部局にては同問題解決の爲め今三日臨時會議を開く松滬護軍使何豐林は租界外の米店に對し租界内の米店に附和して同盟罷業をなす勿れとの布告を發せり又た淞滬警察廳も同樣の布告をなせり

然れども、共同租界の北部に依居せる勞働者階級は開北租界外に赴きては佛租界に買ひ求め南部に赴きて買求め居たるが佛租界の米店は大部分已に存米を賣り盡し且つ開北より米を引くには共同租界内を通過せざるべからざるより不便を感じ之が爲め佛租界の米店も三日より亦た營業を停止したり故に勞働者階級は租界外南市に赴きて米を買ひ居れり而して勞働者中には米の代りに麵麭を食ひ居る者頗る多き模樣や上海總商會では嘉穀堂公所董事に日曜日には工部局との間に何とか解決方法を決定すべければとて佛租界及び租界外の米店に罷業せざるやう勸告せんことを依頼す

▲開北米業董事は舊暦六月一日即ち新暦七月五日より萬一租界外の米店に對する同情罷業を始むれば開北一帶の苦力職工等は其の日の食糧得る能はざる事となり危險此上なしとして昨日同業者を招集し舊六月一日より開北慈善團内にて粘米（下等米）の小賣を開始することに決せり

是れ三日の事にして四日總商會長孟は工部局を訪ひたるが、同日市參事會を開き五日通知するとあり聞きたるが、上海領事團主席領事は、江蘇特派交渉員に工部局が米店の鑑札例を施行するは全く支那人の利益の爲めなるに各米店が之を諒解せざるは知實を知らざるものと云はざるべからず且つ工部局條例修改を承諾したるに何故解決の望み無きや現に本首席總領事は最後の調停者として此の鑑札は工部局より直接發給せず本總領事館が受けて之を總商會に發すべしとの如くせば各米店は直接工部局の管轄を受けざることなるを以て過慮する必要無かるべしとの調停方法を通告したり許交渉員は工部局も已に條例の修改を承諾し且つ又た首席總領事も調停に立ちたれば各米店は先づ開業すべしと昨日此旨を總商會に通知し各米店への勸告方を依頼せり

五日に至り又租界外の米店罷業を見たるが、總商會は工部局の米業者と交渉し勸告せられたしとありし旨を米業商會に通知せしも同會長は米商公議を開き開店方を勸告せしも聽かず縣公署にては救濟會議を開き其結果共同租界内の各米店は鑑札反對の爲め同盟罷業を行へるが租界外米店は鑑札を設けざるを以て毫も能業の理由無し茲に南北商會々長米業董事等は即日より開業せんことを勸告す並に南門外陸家浜施粥廠豊記碼頭滬南慈善會及び西門外西林菴に米潮が租界内に影響せんことを恐れ軍隊多數を派して城内外及び租界境界地方を巡回せし場面端を醸して治安を擾亂せんとする者は直ちに拘引せしむることゝなし居れり

支那時事日誌

七月一日（金）

▼斬は曹張の軍費要求をはねたる文を送れりと

▼陸榮廷は化縣連山占領を電告し軍費を要求せり

▼范源濂入京し教潮調停に任ず

▼支獨協約本日より效力を生ず

▼參陸處は虞西援助に決す

▼北京灣南航空第一回成功す

▼陸榮廷の首十萬元に懸賞さる

▼上海米店罷業本日より開始

七月二日（土）

▼閻相文の部下は本日溪陽より軍費を受取り出發す

▼王督軍は募兵の爲め一日直隸に人を派せり

▼斬は兩廣に對し旁觀し孫文を敵と認めず

▼張作霖は一日經略に就職す

▲斬の意は陝西の抗命せる軍人を免職すべしと

▼四川劉湘は一日就職せり

▼江虎兀はモスコーに着し歡迎を受けたりと

▼湖南軍は鬱林に侵入せりと

七月三日（日）

▼本日市郷自治制の二條例教令を以て發布さる

▼勞農政府は外蒙亂を自ら平定せんことを求めたれども支那政府は拒絶せり

▼一日蒙古王公會議は張の征蒙につき相當の利益を與ふるに決せり

▼中佛銀行は支那銀團より維持を取ることに決せりと

▼上海唐山北京の交通部管下の學校は皆交通大學と改稱すること一日より實行

七月四日（月）

▼外交團は海關稅則條正、宜昌兵變賠償の件につき協議せり

▼陸榮廷は沈鴻英の部下は龍闕占領せりと電告せり

▼外交部は太平公司と孫文間に千二百萬の借欵ありとて日本に向つて抗議せりと

▼佛國は支獨協約成立に對しヴェルサイユ條約二百六十條に背反する旨支那に抗議したりと

▼高州廣東軍は大に優勢なりと報ず

▼上海絹絲檢査所長米人ドゥテイー氏は四日日本著

▼日本は宜昌重慶間航路に補助十萬圓を與ふるに決せり

▼廣西軍は欽廉を占領せりとの報あり

大阪毎日新聞學士　法學士　平川清風　著

支那共和史

全一冊　菊版總クロス　定價　銀五弗　九百頁　金七圓五十錢

第一編　共和政府肇立
第二編　袁氏斷政治
第三編　政府議會衝突
第四編　南北對峙
第五編　段沒落迄
第六編　革命の醞釀
第一版　九月廿五日發行
第二版　十一月一日發行
第三版　十二月一日發行

郵送料　日鮮、遼、樺　五十五錢　奉天、京津、漢口等　三十錢　大連等　二十七錢　旅順　二十七錢　香港　二十錢

春申社發行

中華皮革廠

營業科目
各種製革
各種調製革
各種ビツカル
各種紡織用革
各種皮革製品
各種皮革製造販賣

事務所、工場
上海曹家渡
電話西一〇〇〇番

販賣所
上海廣東路十九號
電話中二三七六番

三井洋行
（電話中四九九〇番）
上海代理店
申込所　山口商店
電話（北四五九夜間兼用　二三九七）

海上保險
東京海上火災保險會社
横濱火災保險會社
東京火災保險會社
共同火災保險會社

火災保險
明治＝東京＝日本
共同＝横濱＝千代田
東京海上＝大阪海上
神戸海上＝大正海上

保險會社

生命保險　明治生命保險會社

海難救助作業
東京サルージ株式會社
上海代理店
三井洋行
（電話中四九九〇番）

日本麥酒株式會社釀造
代理店
海上　**三井洋行**
電話中四九九〇

サアヒビール
上海文路第一號
山口商店
（電話北五四四）

穀零賣處三ケ處を公設し七月六日より貧苦者の小買ひに應ず
一、時間午前八時より十一時迄午後二時より五時迄
一、數量　一升より五升迄を限りとす
一、賣價　籾米一升百四十文
一、銀元　一元は五百文とし小洋銀は一角を百三十文とす
一、閉處期　米店の開業と同時に閉處す

共同租界の米店は同盟罷業以來七日迄一週間にて佛租界租界外の米店も同情罷業をなし居るより貧民の苦痛少なからず幸ひに數ケ所に公設小賣處設けられたる爲め斷炊の患に無き迄なるが七日午前九時より全體大會を開き解決方を講ずるとのことなりしを以て米店に會議の模樣を問合すもの多かしが午後に至るも開店されざりし爲め何れも大いに失望したり

▲佛租界の狀況　三日以來同情罷業を繼續し居り店は開き居れるも米は所有せず七日は數粒蠶豆を賣りたる店ありたるも數量は多からざりき

▲城內外の狀況　昨日は同情罷業の三日目にて三ケ所に公設小賣所設けられたる爲め恐慌を起すに至らず小賣所は大いに賑合したり同朝蓬萊路の米店は白米を賣出したるが同業者が之を聞き決議に違反するものなりとて詰責したる爲め正午頃には賣止めたり

▲總商會の米業會議　七日午前九時嘉穀店米業公所は租界內外の米店同業者を招集し上海總商會に於て會議を開きたるが來會者約五百人にて米業進事奚元良開會の趣旨を報告し總商會々長葛雲台は首席議事、工部局の交涉經過を報告し鑑札條例修正の見込み立ちたるを以て和平に解決せざるべからず上海は商業繁盛區として其の日暮しの勞働者多き爲め倉料の缺乏は重大なる事件を生ずるを恐れあれば即日開店營業されたしと勸告し賛否を舉手に問ひたるが開店賛成者多數なりしも舉手にては明かならず須らく表決すべしと提議せるものあり開店賛成者は西側不混雜を來し何等紛まる所なくして解合せり

▲嘉穀堂の米業會議　七日午後四時租界內外の罷業繼續を主張する米商人等は城內嘉穀堂に集合して會議したるが來會者約百人として罷業繼續に決したり

▲開店勸告の通告　七日午前九時上海總會に於ける會議は秩序亂れて何等の決定を見る能はざりしより總商會々長は南北兩商會全體會董を召集して午後五時より會議を開き其の結果上海總商會、縣商會嘉穀堂の名を以て左の如き通告を發し各米店に直ちに開店營業せんことを勸告したり尚未た協定成立の運びに到らざるも之を獨支通商條約に比する時は更に一層の自主的色彩を濃厚ならしむ

▼廣東學生聯合會は小川丸事件國民大會を開きたり

▼虛永祥の代表石小川は陳炯明に面し聯省自治を協議せり

▼陝西援助の爲め曹錕は沙市駐在の八師を襄陽を經て送ることせり

▼外交部は朱啓鈐の歸途日本に立寄りしを以て非正式に山東問題を交渉せしむべしと

▼姜桂題は河南軍を熱河に入れんとせしが趙倜は河南留め置きを求めたり

▼新疆域の過激派軍は支那が反過激黨を取締らざれば自ら處分するの旨脅威し來れりと

七月六日（水）

▼陳樹藩は乾川瀘橋間を往來し戰事に當ると云ふ

▼政府の對蒙方針は懷柔すること丶已む得ざる時鎮伐を張ると云ふ

▼陳光遠は贛南危しと打電し增兵軍費を乞へり

▼陸榮廷は高州を退き羅定に進み肇慶を攻むべしと

▼教育風潮は范大京以來大に緩和されたりと

▼上海米店罷業は今日も解決せず

七月七日（木）

▼廣東軍は高州救援計畫を立てたり

▼北江方面に激戰あり魏邦平の主力は着々成功しつゝありと

▼政府は各省に獨乙產業還すべきを通電せり

▼北京に全國弭兵會發起さる

▼陳樹藩の戰略は咸陽に立籠るに在りと

▼江蘇も制憲に決せりと云ふも齊燮元は然からずと打電す

▼成都は劉湘就任後無事なりと

▼陳光遠は湖南遵ゐして粵桂の漩渦に巻き込めしめざる樣王占元に電囑せりと

▼東支鐵道株全五日に在り宋小濂は鐵道沿線の守備は政府と打合せたりと報告せり

▼外交團會議に於て英公使伊代理公使宜昌租界問題を提議し米代理公使之に反對を表し結局否決

七月八日（金）

▼政府は顧施兩公使に打電し太平洋會議加入を主張せしむ

▼高雷、欽廉廣西軍の手に歸し韶關、連山、英德、廣帶の粵軍降る

▼湖廣會館に於て王占元歡送大會を開く

▼張泉惠は張作霖の復蒙計畫を癒し入京す

▼洪兆麟欽廉に出發せんとし軍艦又同地に派遣

▼陳炯明梧州を陷れ蒙軍五路に分ち賀縣を圍む

▼參陸陸陸譚沈に對し韶州陷落を賞し江西軍と聯絡を謀り倘ほ臧致平の師を湖梅に進駐せしめんと返電

命令

茲に市自治制を制定し之を公布す

茲に鄉自治制定し之を公布す

▲七月四日令

給二等寶光嘉禾章　吳俊陞

給二等文綬嘉禾章　孫烈臣

▲七月六日令

任福建查勘煙酒大員　王大謙

任陝西查勘煙酒大員　宋聯奎

依願免山東財政廳長　張肇銓

任山東財政廳長　龔積柄

給三等嘉禾章　劉建章等

●國權恢復熱

▲治外法權と郵政▼

最近支那に於ける所謂主權恢復運動は往年の熱狂的盲動に反して內面的充實の聲となり實際に目覺めたる自主的外交の成果と相俟て漸次質なりて世論を動かしつゝあるは最も先哨爾賓に於ける司法權警察權は露國潰亂の渦中に乘じて悉く之を恢復し更に新に訂結さる可き露支通商條約に於ける獨逸の治外法權を撤去せしめたるは近時支那の外交史上に最だ列國が撤去せんとする傾向あり、更に外交部は本月中旬關係各國公使館に對し『自國郵便局の撤去』を要求し來れり、右は最近支那に於ける郵便事務は異常の發達を來し先選列國に比し毫も遜色を見ざるものと信ずるを以て一概に撤去されたしと云ふにあり這は主として日本に對するものにして目下各地に於て表面郵便局を開設しつゝあるは日佛兩國にして餘は公使館或は領事館內に於て執務し殊に日本の如き取扱郵便件數は莫大の數に昇るを以て迅くより撤回の希望あり たるものなるが其機會を得ず今次各國に對すると俱に頗る强硬なる狀態に出でたるなるも日本側としては未だ其機に非ずとして拒絕すべく唯だ列國が撤去せんとする際は別に何等かの辦法を講ず可きなりといふ以上の如く着々主權侵害の特典を回收するに努め居れるは外交自の主的進步を認め得たるに對し尠からず

營業種目

葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般輸出入業埃及メルコニアン煙草會社代理店

上海黃浦路三十一號

株式會社　伊藤商行

電話　北四川路一五九〇　二三〇九

支店及ビ出張所

漢口、九江、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京、

諸藥品、織機、絹綿布、雜貨輸出入貿易

上海河南路八號

株式會社　東亞公司

電話中央　一七三四　四一二六

本店　東京

支店　大阪

營業種目

各種事業ノ調査設計及引受各種事業ニ對スル直接間接投資

資本金　貳千萬圓

營業科目　棉花、綿絲、品綿製生絲

本社　大阪北區中之島貳丁目十番地

東亞興業株式會社

上海出張所

上海九江路第五號

電話中一九九五番

本社　東京市麴町區八重洲一丁目一番地

出張所　北京、漢口、上海

資本金　五千萬圓

日本棉花株式會社

上海支店

支店及出張所

大坂船場、名古屋、東京、橫濱、神戶、大連、營口、鐵嶺、開原、長春、哈爾濱、上海、漢口、津天、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貢、カラチ、紐育、堡部、シャトル、ブニノスアイレス、佛國アーブル

鞏固なる自信を有するものと見るを得べし

●中法銀行事件と上海

七月二日は各銀行半休業休息の第二日目にて上海の銀利は午後三錢六分に騰貴したり銀業者は巴里より中法實業銀行本店が支拂ひ停止をなせうとの消息を得上海支店に影響又は同銀行の紙幣を有する者は各小錢莊及び煙紙店にて兌換し割引されたるものもありたり同銀行も次で巴里より電報を受け暫時取引を停止する事となれり聞く所によれば同銀行は上海に於ける營業願る發達し且つ外國銀行團公會に加入し居るを以て同行の紙幣は同業者が維持すべしと七月六日午後四時支那銀行團は銀行公會にて中法實業銀行紙幣兌換に就き會議を開きたるが上海銀行團は北京より同行の支那に於ける紙幣發行額は總數二百萬元内外にて北京は已に擔保品を得たりとの電報に接したるを以て上海は中國、交通兩銀行等の諸幣を杭州の省憲起若委員會に打電したるも何等の回答無きを以て代表を杭州に派すべきことを協議したり

●國貨の提倡

華僑聯合會中貨國貨維持會中華全國工商協會中華工商研究會等は華僑聯合會董事兼總務科主任許冀公が昨年南洋各地を調査したる報告によれば遅羅には在留支那人數四百萬人以上あり商場の勢力十分の七八は支那人が掌握し居り遅羅の日用品は概ね香港新嘉坡より間接に輸入し居るを以て支那の國貨を大いに輸入する方法を搆ずべしとて開地に遅羅中華國貨見本陳列館を設くる事となり見本蒐集の爲め昨日大東旅館にて晩餐會を開きて協議せり

●浙江省憲協進會

浙江省憲法制定の監督機關として上海に設けらる浙江省憲協進會は昨六日評議幹事聯席會議を開き省憲の組織として(一)起草委員は有効と認むし(二)省憲の速成を希望す(三)加入法團は審査後決定す(四)旅滬浙人は華僑の成例を沿用し、審査に加入す等の諸幣を杭州の省憲起若委員會に打電したるも何等の回答無きを以て代表を杭州に派すべきことを協議したり

●海軍の停滿給料支拂ひ

海軍總司令蓋建樞は各艦隊及び海軍各機關の給料停滯額支拂ひ要求の爲め北京に赴き債券數十萬元を携へ回滬したるが之を中國、交通兩銀行にて現銀と取替へ福建厦門方面の各船には運送船靖安長江上下游の各船に分配することゝなり兩船は昨日出港したり

●廣告公會の交誼會

中國廣告公會は世界の廣告總會の一部分にて上海の報界、印刷界、工商界の廣告事業と關係ある者は皆な公會々員にて總數支那人外人百二十五人の會員あり昨日新閘路簡南照の南園を會場として第一次交誼大會を開きたるに來會者三百余人あり

●支那人の燐寸會社

支那人の燐寸會社は歐洲戰爭前は僅かに上海の熒昌、熒昌、杭州の光華、寧波の正大等の四會社に過ぎざりしが歐戰後逐漸增加し上海は恒昌、利民他地方は鎮江の燧生、熒昌、蘇州の熒昌、鴻生、九江の裕生、蕪湖の大昌、周浦の中華等相繼で增設されて國七八年間は頗る利益を得たるも惟だ市場には常に日本品と競爭する爲め價格を引上ぐる能はず昨年以來爲替相場下落し日貨抵制も漸次冷淡となり加ふるに種々の原因にて其の營業狀況は以前の如くならざるより各廠は維持の爲め中國火柴同業聯合會を組織し六月二十五日午後上海熒昌火柴廠事務所にて成立會を開きたるが同業者十余人の出席あり章程を作り營業維持方法を討議し已を得ざる時は惟だ產額を減少するを輕々しく作業を停止せざることを決したり

●盛宣懷の銅像

徐家滙南洋公學は故前清宮保盛宣懷の創辦せるものなるが同校關係者は盛の功德を感じ寄附金を募集し盛の銅像を建つることゝなり南市華興機器廠に鑄造方を註文し居たるが來月下旬竣成すと銅像は身丈け六尺有余重量三千二百余磅なり

●無政府主義書籍查禁

上海軍政各機關は江蘇軍民兩署を經て北京陸軍部より探偵報告によれば現に無政府黨は北京蘇州上海等の各處に機關を設置し民衆を煽惑しつつあり同黨の組織の源流は露國の過激英の勞工及び支那の勞働並び學生等の聯合して成るものに係り現在上海の軍事機に運動し已に多種の印刷品を暗儲し居れり今ま江湖、共產、世界、軍人の三種に印刷品を手に入れたるが其の書の宗旨は純ら無政府主義に屬すとあり嚴重に取締りを行ひ亂萌を遏がれたしとの訓電達したり

●烟酒交易所の準備

上海煙酒交易所組織に就き昨日午後二時より再び會議を開き

一、每業各準備員二人を推すこと

一、今月を第二次發起人會とし列席の人は均しく發起人とし每發起人は準備費二百元を擔任し先づ一百

漢字新聞論調

▼外交險(新聞報)(七、五)　宇林報北京通信は外交界は北交政府の脅嚇無能を以て代表を撤回し復た承認せずと報ず外交上の大危機と云ふべし、今の政府が軍閥を恃みて地位を保つよりして自の咎めなり、外人は列國干政を以てすること由來久しく外人の所論も民論も共に嘗せず焉たり昏沈醒の執政者幾微の覺悟なきや

▼調停(申報)(同上)　調停なるものは雙方の諒解を求むるものなれども事實由來適其反の得たり調停の人出でて雙方の氣途に大に張り我見るに固執す、愈調停して愈挽回するなし

▼二大恐慌(神州日報)(同上)　上海今日二大恐慌は金融界と貧民社會なり、一は申佛銀行の倒產による銀行界は大に善後策を講ずべし一は米店龍業問題なるが速かに開市して民食を維持すべきなり

▼反觀(商報)(同上)　日本　會聯合會の決議を見るに英國議會政治の成功が金袋と刀の回收に始まり政府をして命を聽かざる能はざらしめ、日本の今日は殆んど此の道に從つて進む、我が國も反觀すれば半年の間苛稅增加に共變類りに起る者みざるべからず

▼航空業(中華新報)(同上)　北京上海間に航空郵便開始さる、朝に發して夕に至る、我國の一進步なり此舉に對し世人の注意を促かすべきは航空事業は娛樂的にあらず必要事なること及官僚腐敗の經營に任かせず民間大に發起すべきことなり

▼信用(申報)(七、九)　信用は商業道德を以て定む、然るに俗人は重きを國籍に注ぐ、故に守錢奴は金を外國銀行に集む、宜僚の金融機關亦然り※外輕內の風を息むべし

▼閥の接任(新聞報(同上)　閥相交は接任せるも陳樹藩は淡中に退くの計畫あり主腦も多く發動なきを保せず、陳失敗し退守するも益なし早く覺悟すべし、閥も亦善後に注意し戰勝の威を恃むべからず、征服地祇すべからず陝西の元氣恢復を是れ圖るべし

▼米店に就て(時事新報)(同上)　領事團の調停により米店は開店に決す、人或は歇化と云はんも誤步と云はんも吾人は支那の惡習に反したるものとして大賛揚す、されど米商が此一事を以て覺悟するや否や、今後假令吊り上げざるに在り、營利主義盛んなるも共に協作主義の愈盛んとならば吾人は更らに慶すべしとなす

▼宜昌人民哀し(神州日報)(同上)　宜昌人民は哀し、吾國の達官貴吏は其の財貨を租界に置き庇を外人に托す何んぞ獨り宜昌人のみを貪めんや政府は自ら悔ひ自ら悟り、各地の安全を謀るべし、否らざれば二十行省皆宜昌となるべし

●電車會社營業成績

共同租界電車會社の報告によれば本年六月末迄半期の營業成績及び昨年同期との比較左の如し

今年上半期　昨年上半期

收入總數	一、六四九、九九二元	一、六四九、九九二元
各種支出	四、一〇四、四四一元	一、一〇〇、六九八元
純益	九、四四、四五六、元	八、六五、二九二、元

●同濟醫工學校の免費生

同濟醫工學校董會は歐洲戰爭後各國は貧寒子弟の優秀なる者をして高等教育を受くる能はざるものの爲めに免費の高等教育機關を設くるものあるに鑑み每年十名宛の免費生を收容することゝなれり其の十名は同校經費の劃撥を担任する江蘇省より四名、江蘇以外の各省區より四名を採る規定なり

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd.

KMY

營業種目　棉花、棉糸布、雜穀肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

上海泗涇路九號

神谷商事株式會社上海支店

電話中三八七五

本店　東京市日本橋區本石町三丁目

支店　大阪、神戶、名古屋、上海、漢口

營業主目

一般電氣及工業ノ經營並ニ之ニ對スル資金ノ直接又ハ間接ノ供給及融通

一般工業用機械材料及原料ノ賣買並ニ仲介及代理

一土木建築ノ設計及請負監督

以上各號ニ附帶スル一切ノ業務

一般商品ノ賣買並ニ其仲介及代理

一般電氣及工業ノ監督

營業種目

●輸入　綿糸、綿布、雜貨、金油機械、染料

●輸出　綿花、雜穀、肥料、脂屬麻、絹綿麻布、五金

伊藤忠商事株式會社上海支店

C. ITOH & Co.

紅

伊藤洋行

上海漢口路五號

電話　夜會雜貨計庶　營業部　營業人　支配人部　席　宿務辦

一三八五　三七九一　三四七一　三二八一　三八九一

本店　大坂

支店　東京　神戶　小樽　今治　横濱　京都

海外支店及出張所　漢口　大連　香港　天津　馬尼拉　青島　甲谷他紐育　倫敦　タバコ　孟買　ヤシトル

中國工商株式會社

（香港路A六號）

支配人室中　四七三〇

事務所中　二六二八

〃　宅北　一八七六　六六八

●朝鮮人參は其の粉末を混和したるエキスを使用に至便

●調製せる其形細粒然も効力頗る强大

●携帶に至便

●人參の精粹

高麗參丸

▲朝鮮總督府賣買局所管▼

事務家、旅行者日常の携帶に便利

使用に良し

大瓶　百粒入(六日分)　大洋七角

小瓶　五十粒入(三日分)　大洋四角

▼到る處の有名藥店に販賣す▲

（大物實）

元を舊歷六月一日迄に警備處に交附すること
一、資本を一百萬元とし五萬株に分ち一株を二十元とし先づ一半を收め外株を收めざること
一、舊歷六月一日午後二時第一次準備會を開くこと
一、煙酒聯合會より先づ辯商部及び煙酒事務局に打電し備案を請ふこと
等を議定せり

●華法輪船公司成立

昨日午後三時黃浦灘六號の事務所に於て成立大會を開き支那人愉より傳筱庵、李偉侯、邵子愉、盛泮澄の四名を理事に擧げたるより同公司は資本金三十萬兩に現に汽船江慶（約五百噸）を有し重慶宜昌間の航路に充つる筈なり

●毒藥取締と藥種商

共同租界工部局にては毒藥取締例を定め七月一日より實施し各西洋藥種店に保證金を收めしむることゝしたるに對し藥種商組合にては一致否承の爲め二三回同業會議を開きたるも意見一致せず遂に何等の表示無かりしが昨日の定期會議に於ても意見纏まらざりき之れ鑑札實施期は多少猶豫されたる爲め大半は歡望せるが爲めなりと

●證券棉布正頭交易所

洋布同業者の交易所を組織せんとせるもブローカー等の反對により行悩み發起人黃春蘭、李學暢等二十五人は各々一萬元を出資して改めて綿布交易所を組織せんとし紗布廠の加に於て發起人會を開き名稱を華商證券棉布疋頭交易所と定め資金を二百萬元とし一株五十元、四萬株とし先づ四分の一拂込みにて佛租界に於て開業することを決議したり

●揚子公司株主の借欵反對

揚子機器公司株主聯合會は漢口同公司董事が川崎造船所より借欵することゝなり已に正式契約調印の爲め日本に人を派したりとのことを聞き北京政府に電報を發し商權保持の爲め同公司董事會に借欵停止方を電令されたしと要求せり

●獨逸俘虜の感謝

吉林にて支那官憲に收容されたる獨逸武官某は歸國後二回獨逸新聞紙上に支那が俘虜を優待せることを記載せる爲め北京の荷蘭公使は右の新聞を北京陸軍部に送りたるが陸軍部のみならず國家の地位も無形の裡に益を受くるものなれば廣く宣布して國人をして愈々文明に趨かしめ以て榮譽を增さしめざるべからずとて其の譯文を各地方官に配布し上海縣知事にも送附し來りたり

●交涉公署の移轉

江蘇特派交涉員公署は前清大清銀行より借受け居たるものなるが近頃家主より回收を申込みたるを以て許交涉員は未德路二十二號に適當の建物を搜し出したれば九月中に同處に移轉すべしと

金融市況

●自年年七月一日至年年七月七日　上海の金融及外國爲替

今週に至り上海金融市場は近來見ざる繁忙を告げ短期賃金一割二分に昂騰然かも之を得る事甚し困難なりき是れ近時銀行交易所信託會社の新設ぜらるゝもの頗々として多く投機熱支那人間に甚しく盛溢し是等の交易所に於ける取引高も非常なる巨額に達し北方面に賃金の吸收せらるゝもの多きに加へ中法實業銀行支拂停止の報七月一日傳はりてより一時少恐慌の狀を呈し各紙幣發行銀行は何れも多少の取付に遭ひ然らざるものも準備を充實するの要ありたるが爲めなり

本週中移動左の如し

輸入
天津より　十六萬兩
同上より　二十八萬弗
南京より　十二萬兩
漢口へ　二十萬弗
無錫へ　十萬弗
蘇州へ　十萬弗

輸出
天津へ　十萬弗
同上へ　二十萬兩
南京へ　十二萬兩

○金融　週刊『サンマーホリデー』にて各爲替銀行休業の間七月三日當地中法實業銀行が支拂停止を發表したる結果休業開け四日に於ける市場は非常なる混亂を惹起し各銀行共的物賣に出でたる爲め爲替は著しく硬化して遂に三志九片の取引を見るに至りたり週末目先き稍安定を得たるに從ひ漸次軟弱したりと雖も倫敦銀塊相場に比較し甚しき『オーバーバリテー』を以て越週

本週中銀塊及爲替相場如左

◎本週中銀塊及爲替相場

月日	銀塊相場 倫敦	日本向電信	爲替相場 倫敦	日本向電信
七月一日	Summer Holiday			
〃 二日	〃			
〃 三日	Sunday			
〃 四日	35⅛	35⅞	733	
〃 五日	36⅞	3/6	72	
〃 六日	37⅞	3/7	714	
〃 七日	36⅞	3/6⅞	72	

銀塊　墨銀　銀塊

●外國銀行在銀現在高

七月六日(木)　六月三十日(木)
三六、八〇〇、〇〇〇兩　三五、一六〇、〇〇〇兩
三六、九一〇、〇〇〇弗　三五、九二〇、〇〇〇弗
四三、〇〇〇ポンド　—

●上海取引所（六月十八日土曜日前場大引）

株式之部

	現物	六月	七月	八月
甲號五分利公債	六二・〇〇	—	—	—
日本信託銀行	一五六・一〇	一五六・一〇	一五六・一〇	一五六・一〇
日華紡織株	五三・八〇	五三・八〇	五三・八〇	五三・八〇
恰利紡織株	三四・〇〇	三四・〇〇	—	三四・〇〇
大阪株式取引所	八六・〇〇	八六・〇〇	八六・〇〇	八六・〇〇
上海取引所	五三・〇〇	五三・〇〇	五三・〇〇	五三・〇〇
同上株新式	二六・〇〇	二六・〇〇	二九・〇〇	二九・〇〇

綿糸之部

	現物	六月	七月	八月	九月	十月	十一月
中國綿糸十六手	—	一四四・〇〇	一四六・〇〇	一四六・〇〇	一四六・〇〇	一四六・〇〇	一四六・〇〇
水月十六二十手組合七	一六四・〇〇	一六四・〇〇	一六四・〇〇	一六一・〇〇	一六一・〇〇	一六一・〇〇	一六一・〇〇

公人私人

▲淵田太郎氏　七月四日大利丸にて來滬
▲安藤元郎氏　七月四日湖北丸にて來滬
▲松本十五郎氏　七月四日コレア丸にて向東
▲佐々木大助氏　七月六日近江丸にて向東
▲綾川五郎次氏　七月六日近江丸にて向東

前週中郵便局圓銀相場（金壹圓に付）

月日	墨銀	圓銀
七月二日(土)	一、〇一〇五	—
〃 三日(日)	—	—
〃 四日(月)	一、〇〇五三	一、〇五三五
〃 五日(火)	〇、九九五三	一、〇四四二
〃 六日(水)	〇、九九五〇	一、〇三八七
〃 七日(木)	一、〇〇一〇	一、〇二四二
〃 八日(金)	一、〇〇一〇	一、〇二四二

編輯餘錄

▼制憲々々全然見劇である、一言の根本大法は省議會が引受けた、全く壓斷じや、而かも省軍の同意を得ると云ふのだから、謂はゞ督軍と省議會の制憲、民治な軍治の軌範に入れ去つたものじや、狡猾な軍閥は此美名を以て、地盤を鞏固にする具に供する、自治水來の面目は何處に在る、眞に笑止千萬

▼國權恢復は其名、排外は其實、之が最近の支那現象であろう、日英同盟更新反對も、米店問題も、排英に取らるゝけれども、排外だと云つてよい、之れで排日の毒は大分薄まる譯である、本來排日することは排英することである、排米することである、只だ排日が近切直利であつた丈けである、支那がコウ弱つて來ては良心ある以上、排日ばかりして居られまい、排外になるも無理はない、排外は或意味に於ては、支那の自主を意味する、必ずしも惡いとのみ見るものでない、要は排外が正々堂々であれば好いが、今の排外はソウ自覺して居ない樣であるのを惜しむ

▼元來支那人は寬大が特質で、排外する客はない、其排外するのは排外せればならぬ樣に推し向けるからである、日本は西力東漸の爲め大分排外の總決算を排日としてやられたものであるが、ソレは日本が外國に氣兼れして外交をやるからであつた、氣兼が支那の鄙夫たる當局政客に私用された傾がある

▼何んと云つても日支は離るゝことが出來ないから、遠きは親しきを隔てず、日本がシツカリして居れば、西力が酷くなると、自然が排日を少くすることになるのが當然じや、吾人も以夷制夷策を攻擊したが、コーウ途親して見ると、遠きは親しきを隔てすの道理に明るい眞面目な支那人があることを忘れてはならぬ、遠水近火を救はず許り云つて居る方がよい、以夷制夷を云ふから、鄙夫政客に利用せらるゝのじや

▼國色天香の支那人が今後は生るゝだろう、今の登場人物は其靈くる時が來る、なる丈け支那人臭い人を欲する、吾人もなる丈け日本人臭くて向へば好い、其處に日支人の橋渡しになる義が生る、義は宜で、雙方宜しくなる、之が本當の親善じや、日支人共に國色天香なれ

EKC
兒玉貿易商行
上海英租界泗涇路八號
電話中一八〇三番
肥料、雜穀、羊毛、羊皮、豚毛、牛骨油脂、タイヤー類、護謨製品、毛糸晒粉、酸類、セロルード板琺瑯製品、縫縫、電氣器具其他
支店　東京日本橋區通鹽町參番地
同　鹿兒島市洲崎町參番地
同　漢口英租界楊子街廿一號
代理店　內外護謨合資會社楊子江一帶
一手販賣店　南海晒粉株式會社（福印）

EI-KWA & CO.
E.K.
瀛華洋行
上海江西路十八號
電話中央一三〇九
取扱商品　雜穀肥料製油原料其他一般輸出業
出張所　神戶、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

OZU-BURIN & Co.
武林洋行
上海漢口路九號
電話中央（一三五七、四二四六）
營業種目
棉花、綿糸布、絹紡呂料、雜穀、肥料、油臘、毛皮革、其他支那天產物等
小津武林起業株式會社
上海支店
本店　大阪
支店及出張所
東京、橫濱、神戶、漢口、沙市、宜昌、萬縣、重慶、大連、樊城、老河口、鄭州

營業品目　砂糖、雜穀、肥料、綿花、棉糸布、支那繭、麥粉、其他
增田屋　安部幸兵衛上海支店
安部洋行
上海福州路三號
電話　事務所　中一四六六　中一四〇〇　住宅　中一〇〇八五　四一七六七
本店　橫濱市南仲通三丁目
支店　東京、名古屋、大阪、下、神戶、長崎、紐約、那覇、蘇南、嘉義、打狗、尼剌、天津、漢口、
出張所　谷陀、

社會株式績紡華東

號九九A路口漢海上　所務事
號八路德華海上　場工
番四五三東　話電

營業科目

海運業
船舶代理
并賣買仲立
一般輸出入

上海江西路五號
合資會社 申亨洋行
電話 三〇〇九

社會株式織紡華日

號五五路川四海上＝所務事
九五二四中 九四二中 話電
浦東＝場工
八九一中 五七五中 話電
場工築建路生勃
七六九一四話電

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ一、二等寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

○大連長春間急行

大連發（木曜日）
長春着 月、木、金曜日
○滿鮮直通（日、水曜日）
長春發 月、木、金曜日
釜山間
釜山發 土、火、水曜日
安東發 日、水、木曜日
長春着 月、木、金曜日

○長春大連間急行列車

長春發 月、木、金曜日　午後三時二十分
大連着 火、金、土曜日　午後三時二十分
○滿鮮直通（釜山間）
長春發 月、木、金曜日　午後七時十分
奉天發 火、金、土曜日　午後五時四十五分
釜山着 水、土、日曜日　午前一時二十五分
注意 ㊙印ヲ付シタル日ノミ運轉ス

急行列車

長春發 月、木、金曜日　午後七時十分
長春着 月、木、金曜日　午後七時十分

急行列車

午後五時四十五分
午前九時
午後七時十分
午後九時五十分
午後四時四十分
午後七時十分

◉大連發 急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

歐亞連絡行程

大連 哈爾賓 二十四時間
聖彼得堡 莫斯科 十日間
伯林 巴黎 倫敦 十一日間
巴黎 倫敦 十二日間
倫敦 巴黎 十二日半間

鐵道旅館

ヤママトホテル

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全 食物精選大連市外星ケ浦ニハ海岸ほてるアリ

電報略號（YAMATO）

使用船 神戸丸
兩船共船內無線電信局アリ
大連發火、金曜日正午
木、月曜日午前

大連上海航路

上海發火、金曜日午前
木、月曜日午前
上海大連共ニ機關繫船
神戸丸九十九時間
海里航海時間三十一時間
神戸丸十四海里航海時間四十一時間
電報略號（AMINSEN）

三八七六噸
二八七七噸

上海着
（金曜日大連發ノ分）
（土曜日青島寄港）
大連着
（金曜日上海發ノ分）
（日曜日青島寄港）

速力 撫順炭

滿洲內地ノ諸都市 大連、營口、旅順、安東、京城、天津、龍口、芝罘、青島、上海、香港、廣東、新嘉坡、馬尼剌、南洋諸島、打狗、浦鹽、其地東洋諸港到ル處ニ販賣ス

南滿洲鐵道株式會社

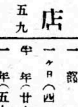
○本社大連市公園町　○支社東京市麹町區有樂町

振替貯金大連（二一九番）　電報署號（MANTETSU）（マンテツ）

北福洋行

上海廣東路三十六號
電話三八九二番

營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣其他一般輸出入業



文路豐號
山口商店
電話北四五九

營業科目
浙江產螢石採掘販賣
一般輸出入業
上海四川路A百二十八號

辛酉公司
（シヤツ製造販賣）
電話中三二三二
工場（上海安發路千三百十五號）
（電話四一八二七）

中和工廠事務所

●和洋家具類
●室內裝飾品類
●書畫骨董類
●諸物貨賣仲次
●電機器具及工事
右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應す
上海閔行路廿一及廿二號

上海便利社

國產奬勵

●敷島 四百本 二十本 武弗拾三仙
●朝 四百本 二十本 壹弗八拾五仙
●白梅 四〇匁入 八拾四仙
●サシキ 四〇匁入 六拾五仙
●アヤメ 四〇匁入 五拾六仙
●ライトハウス 五百本 二十本 壹弗七拾三仙 銀貨拾仙

特約店
東亞煙公司 電話北一〇五二番
松尾洋行 電話北三〇五三番
山口商店 電話北四五九番

本紙定價（前金）

一部	金十五錢	支那
一ヶ月（四部）	金二十錢	日本
半年（廿六部）	金六十錢	郵稅共
一年（五十部）	金三弗三十錢	郵稅共
	金四圓八十錢	郵稅共
	金四圓五十錢	郵稅共
	金六圓	郵稅共
	金八圓	郵稅共

廣告料

本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は縱書又は（電話北二八五七）にて御一報被下度候

編輯兼發行人 上海崑山路A八號 西本省三 電話北二八五七

印刷人 上海崑山路一二號 蘆澤多美次 電話北一三〇三

發行所 上海崑山路A八號 春申社 電話北二八五七 振替口座福岡四七〇五番